

事業概要

1 管理運営に関する基本的事項

首都東京の都立公園で実践する新たな公園のあり方の追求



東京パークラボ

新たなパークライフ、快適空間の創造を試行実践し、展開・還元します

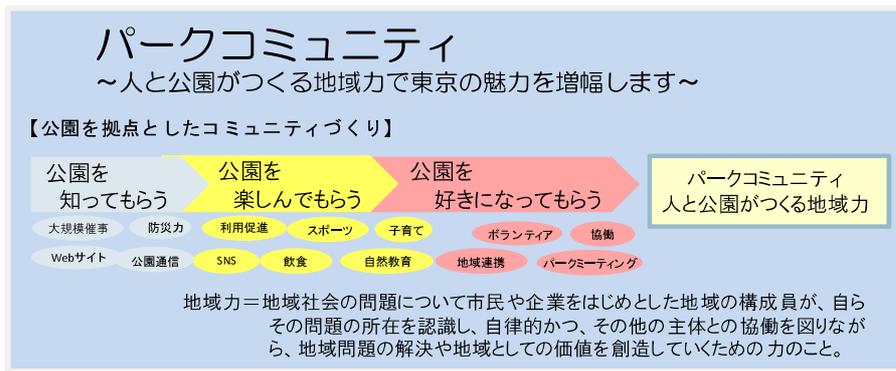
東京パークラボとは、公園の役割(New Normal Park Life)を実際の公園にて実験/実証を通じて実装することを目指す取り組みです。公園をより快適で居心地の良い場所にするために、都民やNPO、企業など公園を活用し活動する人々と公園管理者が「これからの公園のあり方・役割」を一緒に考え、そのための取り組みを試行・実践する協働の場と機会を提供・運営し、利用者に寄り添うさまざまな事業や時代の最先端をいく事業を提案、展開します。

TOKYO PARK Labo具現化のポイント

- 最終目標は成果を実装に移すこと
- 新しい概念を踏まえた実践
- 指定管理者と市民等と一緒に新たな価値を創出
- パブリックで開かれたラボ
- 成果は広く都民・公園利用者や政策立案へ還元
- データの収集・分析とそのシステム開発

アメニス東部地区グループの管理運営方針

・私たちは、地域や施設の特徴を活かしつつ、新しい公園管理の方向性を見出すためにも、都民との協働・連携を意味する「パークコミュニティ」をキーワードに産官学民と連携しながら都立公園の管理運営を行います。



共同事業体の役割分担

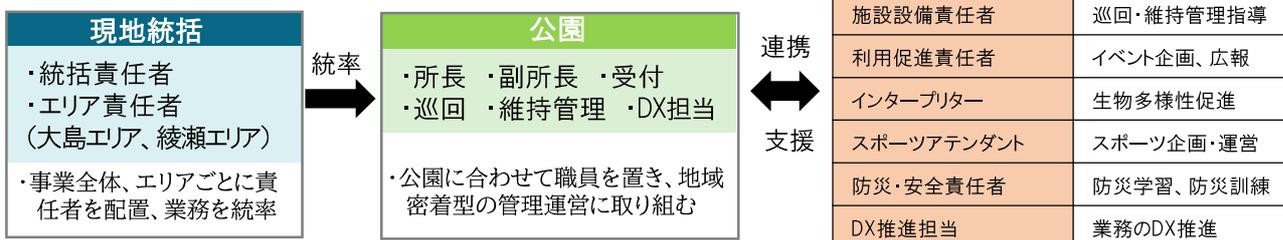
- ・「アメニス東部地区グループ」は当グループ公園の指定管理者として、平成23年から12年間、2期にわたって管理運営してきました。
- ・グループ公園を「一体管理する統括マネジメント能力」「両社の専門的な技術力」「公園の魅力を引き出す提案力」を発揮する体制を構築し、管理運営にあたります。

(株)日比谷アメニス	日建総業(株)
代表団体	構成団体
<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者事業統括責任者 ○管理運営業務 一般的な管理運営業務、受付、利用案内、料金徴収、利用促進、自主事業、広報宣伝 ○維持管理業務 ・植栽管理、園地維持、運動施設管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理運営業務 ・防災対策利用、指導 ・多様なスポーツ機会の創出 など ○維持管理業務 ・建築物、園地清掃、施設設備

2 人員配置計画等

適切な都立公園の管理運営を行うための人員体制

- ・「現地統括」「公園別」「業務別」の3つの基軸による人員配置で専門性を高めながら、効率的な運営を行います。
- ・DX担当者を「公園別」「業務別」それぞれに配置します。



事業概要

3 運営管理計画

公園の性格や立地条件をふまえた管理運営の実施方針と具体的な取組み

公園別マネジメントプランやこれまで私たちが取り組んできた成果を踏まえ、各公園において多様な取組を行います。

(1) 誰にでも使いやすい安全・快適な公園づくり

- ・安全性を第一に、施設や植栽の維持管理の徹底
- ・土壌汚染の対応(大島小松川、尾久の原)
- ・代表企業「安全推進室」による安全パトロールの実施
- ・緊急時の対応体制やBCPの構築
- ・バリアフリー/ユニバーサルデザインに基づく維持管理・改良
- ・公園職員による「おもてなし」の心を持った接客

(2) 防災機能の強化と地域力の向上

- ・自治会、近隣校や地域団体との防災連携
- ・地域の防災力を向上するため「防災フェスティバル」を実施

(3) スポーツによる健康づくりの場の提供

- ・公園で気軽に運動ができる「アウトドアフィットネス」の実施
- ・パラスポーツ等の体験会を開き、都民が気軽に多様なスポーツを楽しむ機会創出

(4) 多様な生物の貴重な生息・生育空間づくり

- ・インタープリターによる子ども向けの環境学習事業
- ・希少種、絶滅危惧種の保護
- ・外来種防除
- ・小昆虫の生育環境を保全

(5) 都市の中で自然と触れ合える機会の提供

- ・利用と保全を意識した、中長期的な植栽管理計画「森づくり計画」の作成と運用
- ・季節の花修景
- ・緑陰確保を意識した樹冠管理

(6) 都民協働による花壇づくり

- ・都民協働による夏花花壇づくり
- ・花壇ボランティアの活動支援



(7) 多様な団体とのパートナーシップの活性化

- ・私たちは当グループ公園において、関連する産・官・学・民・団体の様々な立場の方々と連携し、各公園でのコミュニティの形成が広がってきています。
- ・今後は、このコミュニティを活かして、新たな公園のあり方の追究に取り組めます。



快適で多様な公園の使い方の発信

- ・多様な公園の使い方を体感するイベント開催
- ・“おぐのはら森のマルシェ”の活動継続・拡充
- ・多様な公園利用を受け入れるためのマナーアップ活動の推進
- ・SNSを活用した情報の発信と仲間づくり

公園の運営管理におけるDX化の推進

私たちは、みらいの東京戦略における「デジタル技術とデータ活用」のもと、公園管理業務におけるDX化に取り組み、業務の効率化と住民の利便性を向上と、公園管理における行政サービスの更なる向上に貢献することを目指します。

(1) 業務の効率化を図るデジタル技術の活用

- ・オンライン会議システムやビジネスチャットの導入
- ・勤怠管理や経費管理処理システムのオンライン化
- ・LINE WORKS等の通信アプリの活用による情報共有
- ・施設管理台帳、樹木管理台帳のデジタル化

(2) データを活用したパークマネジメントを実践するための新たな取組

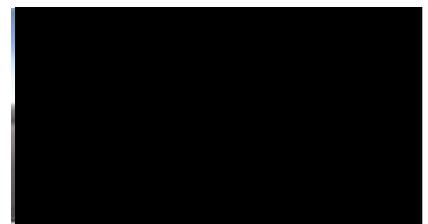
- ・データの収集と分析に基づく公園管理の実現に向けた独自の開発システム「インフォメーションランドスケープシステム」の導入
- ・360度カメラやデジタルツインを活用した公園運営モデルを構築し、公園運営における様々な課題解決や利用者満足度の向上を目指す

(3) 利用者に対する新たなサービスの導入

- ・Wi-Fi/Bluetoothセンサーを用いた人流計測による公園のリアルタイムな混雑情報の提供
- ・受付窓口におけるコミュニケーションロボットの設置
- ・オンラインツールを活用したイベントの実施



台帳システムを用いた樹木点検



360度デジタル映像/大島小松川公園